

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本4-6月期GDP1次速報値)

2018/8/10

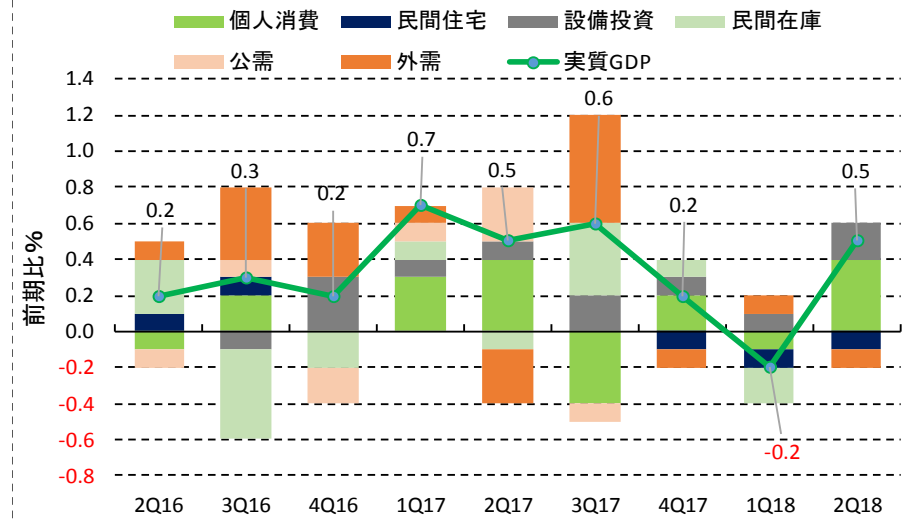
りそなホールディングス 市場企画部



〇概況

- ◆ 4-6月期GDPは前期比+0.5%と市場予想を上回り、2四半期ぶりのプラス成長
 - ◆ 個人消費が反動増、設備投資の伸びが加速しGDP押し上げに寄与
 - ◆ GDPデフレーターは前年同期比+0.1% (1-3月期+0.5%)
-
- ✓ 8月10日内閣府発表の2018年4-6月期実質GDP1次速報値は、前期比+0.5% (年率+1.9%) と市場予想 (前期比+0.3%、年率+1.4%) を上回り、2四半期ぶりのプラス成長となった。個人消費が天候不順により1-3月期に落ち込んでいた反動もあり増加、設備投資も前期比+1.3%と1-3月期 (同+0.5%) から伸び率を拡大しGDPを押し上げた。輸出は海上輸送などサービス関連が低迷し伸び率が鈍化、外需は押し下げに寄与した (右図)。GDPデフレーターは前年同期比+0.1%となった。
 - ✓ 個人消費は前期比+0.7% (寄与度+0.4%ポイント：以下%pt、1-3月期▲0.2%) と市場予想 (+0.2%) を上回った。耐久財消費が2.6% (1-3月期▲1.0%) とプラスに転じ、サービス消費が+0.8% (1-3月期+0.2%)と三四半期連続のプラスとなった。
 - ✓ 民間住宅は前期比▲2.7%と4四半期連続の前期比マイナスとなった (寄与度▲0.1%pt、1-3月期▲2.3%)。住宅着工は足元で下げ止まっているものの、前四半期までの貸家着工の低迷が影響した。
 - ✓ 設備投資は前期比+1.3% (寄与度+0.2%pt、1-3月期+0.5%) と市場予想 (+0.6%) を大きく上回った。
 - ✓ 公的需要は前期比+0.2% (寄与度+0.0%pt、1-3月期▲0.1%)。政府消費が+0.2% (寄与度+0.0%pt)、公共投資が▲0.1% (寄与度▲0.0pt)。
 - ✓ 外需 (輸出-輸入=純輸出) の寄与度は▲0.1%ptと2四半期ぶりのマイナスとなった。輸出が前期比+0.2% (1-3月期+0.6%) と伸び率が鈍化。輸入は+1.0% (1-3月期+0.2%)。
 - ✓ GDPデフレーターは前年同期比+0.1% (1-3月期+0.5%)。市場予想 (+0.0%) を上回った。国内需要デフレーターは+0.5% (1-3月期+0.9%)。

【実質GDP成長率 需要項目別 (前期比)】



	前期比 寄与度%pt	2017			2018	
		4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
実質GDP		0.5	0.6	0.2	-0.2	0.5
民需		0.5	0.1	0.4	-0.3	0.5
個人消費		0.4	-0.4	0.2	-0.1	0.4
民間住宅		0.0	0.0	-0.1	-0.1	-0.1
設備投資		0.1	0.2	0.1	0.1	0.2
民間在庫		-0.1	0.4	0.1	-0.2	0.0
公需		0.3	-0.1	0.0	0.0	0.0
政府消費		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
公共投資		0.3	-0.1	0.0	0.0	0.0
公的在庫		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外需		-0.3	0.6	-0.1	0.1	-0.1
輸出		0.0	0.3	0.4	0.1	0.0
輸入		-0.3	0.2	-0.5	0.0	-0.2

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。